

学校教育目標	のびやかに バランスよく 生きる力を育てます すなおに互いのよさを認め合う子ども（徳） ずっとめあてに向かって挑戦し続ける子ども（知） かかわり、支えあいながら、行動する子ども（開） けんこうで、たくましい子ども（体） しょうらいの夢をもち、自分のよさを広げる子ども（公）					
	15 周年	学校長	幸柳 康弘	副校長	土田 英明	2 学期制
学校概要	児童生徒数： 263 人 主な関係校： 丸山台中学校・丸山台小学校・下野庭小学校					

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	丸山台中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
		丸山台中学校 丸山台小学校 下野庭小学校 野庭すずかけ小学校
<自分づくりに関する力>		○いつも元気よく、相手や場に応じたあいさつができる子ども○自他のよさを認め、人とのつながりやかかわりを大切にする子ども○主体的に学習に取り組み、学んだことを生活にいかそうとする子ども○積極的に地域社会にかかわろうとする子ども 小中の連携を深め、授業力の向上を目指して ・授業参観及び研究協議の機会を年4回設定します。 ・担当者会議を年5回設定します。 ・小中職員が一堂に会する合同研修会を年1回設定します。

中期取組目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎友達とのかかわりを大切に、一人ひとりが自信をもって安心して過ごせる学校にします。</li> <li>・子どもの実態に即した手立てを工夫し、わかる楽しさ・学び合う楽しさを味わえる授業づくりを推進します。</li> <li>・学級・学年の活動のみならず、ふれあい活動や異学年交流の活動など様々な活動から、児童の自己有用感を育みます。</li> <li>・全教職員で全児童を指導するため、共有の時間を確保したり体制を整えたりして情報・体制を共有し、児童が安心して過ごせるように支援します。</li> <li>・学校教育全般を通して互いに認め合い、高め合える学級集団をつくります。</li> </ul>
--------	---

重点取組分野	具体的取組
知 授業改善	① 個別最適な学びと協働的な学びを意識した授業改善を行い、子ども一人ひとりが主体的に学べるよう授業改善を行う。 ② 重点研究テーマを『生き生きと学習に取り組む子どもたちの育成を目指して～自分の考えをもち、伝え合い、問題を解決する力を育てる』で『できそう！』『やってみよう！』『なるほど！』『つないでいこう！』とし、算数科を通して研究を進め、どの教科・領域においても生き生きと学習に取り組む子どもたちを育成する。
徳 人権教育	①年間を通して、「あいさつ運動」を行い、日常的に挨拶を大切にし心の情操を安んずる。 ②人権週間では、学年の実態に応じて授業を行う。外部機関などと連携して人権意識を高めていけるような活動にする。③性の多様性を意識した内容を学年暦に計画し、実施していく。
体 健康教育	①望ましい運動習慣が身に付くよう、ドッジボールに一校一実践運動として取り組み、運動の日常化を図る。 ②学校保健委員会の取組とつなげながら、望ましい生活習慣が定着するよう家庭との連携を深める。
公 自分づくり教育 (キャリア教育)	①地域で学ぶ機会を積極的に設け、いろいろな職業について考えるとともに、自分たちの住むまちのよさに気付く。②「自分づくりパスポート」を活用し、自分自身を振り返る機会を設ける。
いじめへの対応	①児童一人ひとりが自分や他の人のよさを認め合い、誰もが安心して豊かに生活できる環境をつくる。②児童に対して定期的なアンケートや個別の面談を実施し、児童一人ひとりの気持ちに寄り添うとともに状況の把握をし、いじめの未然防止に努める。③いじめの早期解決を目指し、保護者、地域や関係機関と連携し、情報を共有しながら指導にあたる。
人材育成・組織運営(働き方)	①メンターチームを組織し、ミドルリーダーが支援しながら学び合える場を月に1度設ける。全教職員で研修内容を共有し、人材育成に取り組む。②教務運営委員会・ICT等を活用し情報共有を効率的に行い、会議の軽減、時間短縮に努める。
児童生徒指導	①「野庭すずかけスタンダード」をもとに、全職員で共通した指導を行う。また、児童の実態に応じて見直し、修正を行う。②児童が望ましい規範意識をもち、豊かな人間関係をつくれるよう、児童に寄り添った丁寧な指導を行う。③全職員で児童の情報を共有し、指導や支援の方法について共通理解を図る。
特別支援教育	①個別支援学級児童の交流級での活動を積極的に取り入れ、互いの理解が深められるようにする。②連絡・校内委員会などで情報共有を行って支援の必要な児童について全教職員で共通理解をし、支援の仕方を検討し個に応じた支援を行う。③研修会や校内委員会の中でも研修などを行い、特別支援教育について理解を深める。
地域連携	①学校行事を地域の方に見ていただく機会を設けたり、学校ホームページにより学校の行事や児童の様子を紹介等を行ったりして、情報を共有する。②地域の施設を学習に活用したり、ボランティア等地域人材の方との連携をより一層深めたりして、地域に開かれた学校づくりを進める。
a15	a25